

# 那珂川水系におけるヤマメ・サクラマスの釣獲状況(平成29年度)

誌名	栃木県水産試験場研究報告
ISSN	13408585
著者名	綱川, 孝俊 横塚, 哲也
発行元	[栃木県水産試験場]
巻/号	62号
掲載ページ	p. 43-44
発行年月	2019年3月

農林水産省 農林水産技術会議事務局筑波産学連携支援センター  
Tsukuba Business-Academia Cooperation Support Center, Agriculture, Forestry and Fisheries Research Council  
Secretariat



目的

那珂川水系ではヤマメ（溪流ヤマメや本流ヤマメ：川で一生涯を過ごすもの）やサクラマス（海へ降り大型になって川に戻ってきたもの）釣りが盛んであるが、釣獲時期や大きさなどの実態は明らかになっていない。そこで、今後の持続的利用に向けた取組に役立てるべく、釣果情報を収集し、那珂川水系におけるヤマメ・サクラマスの釣獲実態を調査した。

方法

那珂川水系におけるヤマメとサクラマスの釣獲状況を把握するため、栃木県水産試験場ホームページ上に「サクラマス・本流ヤマメ・戻りヤマメ釣獲魚情報投稿フォーム」（Google drive を使用）を開設し、釣り人から 2017 年シーズン中（3 月 1 日から 9 月 19 日）における釣果情報を収集した。

那珂川水系におけるヤマメとサクラマス（降海した個体）は、形態的な特徴（大きさ、パーマークと腹部青斑点の有無）から判別が可能であるため（図 1）、釣り人から寄せられた釣獲時期（日付）、大きさ（全長）、形態的な特徴（パーマーク、腹部青斑点の有無）、釣り方（餌、ルアー、フライ）、魚の扱い（持ち帰り、リリース）の情報をもとにヤマメとサクラマスの釣獲状況を整理した。

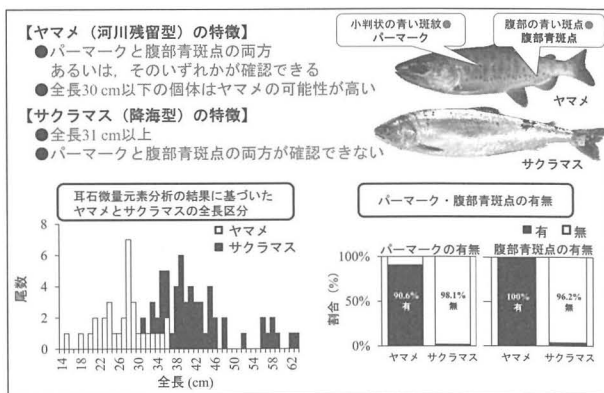


図 1 ヤマメとサクラマスの判別方法

結果および考察

那珂川におけるヤマメとサクラマスの釣獲尾数

2017 年は 16 名の釣り人から 57 尾の釣果の投稿があった。外部形態の特徴から回遊型を判別した結果、ヤマメが 73.7% (42 尾)、サクラマスが 26.3% (15 尾)であった（図 2）。また、全長 31 cm 以上の個体 (34 尾)に占めるヤマメの割合は 55.9% (19 尾)、サクラマス

の割合は 44.1% (15 尾)であった。ヤマメの最大サイズは全長 45 cm、サクラマスは 58 cm であった。

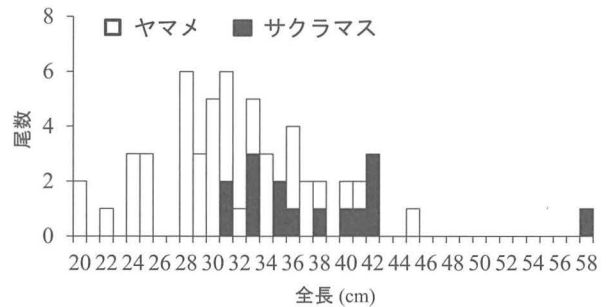


図 2 ヤマメとサクラマスの釣獲尾数

那珂川におけるヤマメとサクラマスの釣獲時期

ヤマメは解禁初期から 8 月下旬まで釣れており、シーズン後半に全長 40 cm 台の大型個体が釣れていた（図 3）。一方、サクラマスは 3 月下旬から 6 月中旬に集中して釣れていた（図 3）。那珂川のサクラマスの河川への遡上時期は、4 月から 7 月までであることが耳石解析の結果から明らかになっており、<sup>2)</sup> サクラマスは遡上のタイミングで釣られているものと考えられた。

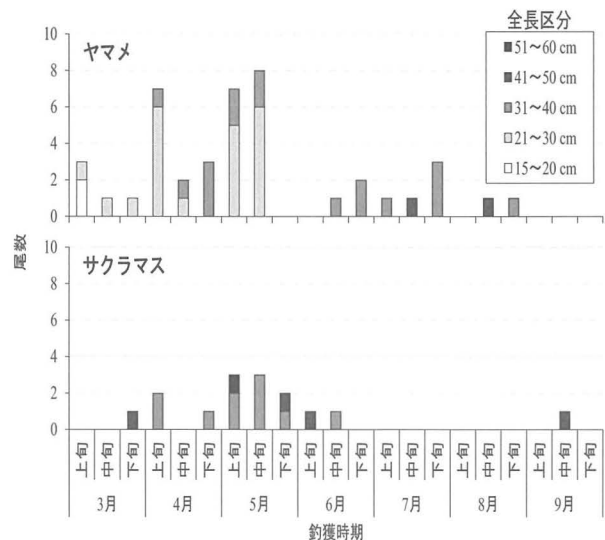


図 3 ヤマメとサクラマスの釣獲時期

那珂川におけるヤマメとサクラマスの釣り方別釣果とリリース状況 ルアーやフライ釣りでの釣果の大部分がヤマメであった（表 1）。サクラマスはルアー釣りでは 1 尾しか釣られておらず、餌釣りでも多く釣られていた（14 / 32 尾）。また、サクラマスはヤマメに比べてリリースされる傾向が強かった。

今後も、那珂川におけるヤマメやサクラマスの資源状況を把握するため、釣りによる利用実態を継続的に

調査する必要がある。

表 1 ヤマメとサクラマス釣りの方別釣果とリリース状況

ヤマメ		*総釣獲尾数はヤマメとサクラマスを合わせた尾数			
釣り方	総釣獲尾数 (尾) A	ヤマメ 釣果者数(人)	ヤマメの 釣獲尾数(尾) B	ヤマメの 割合(%) (B/A×100)	ヤマメの リリース割合 (%)
ルアー	23	8(8人中)	22	95.7	72.7
フライ	2	1(1人中)	2	100	100
餌	32	4(7人中)	18	56.25	77.8

サクラマス					
釣り方	総釣獲尾数 (尾) A	サクラマス 釣果者数(人)	サクラマスの 釣獲尾数(尾) B	サクラマスの 割合(%) (B/A×100)	サクラマスの リリース割合 (%)
ルアー	23	1(8人中)	1	4.3	100
フライ	2	0(1人中)	0	0.0	-
餌	32	4(7人中)	14	43.75	92.9

#### 引用文献

- 1) 綱川孝俊・白井厚太郎. 那珂川に生息するヤマメ・サクラマスの形態的特徴に基づいた回遊型判別方法の検討. 栃木県水産試験場研究報告 2018; 61: 59-61.
- 2) 綱川孝俊・白井厚太郎. 那珂川に生息するヤマメ・サクラマスの回遊履歴の推定. 栃木県水産試験場研究報告 2018; 61: 56-58.

(指導環境室)

# 調査試験報告要旨

## 那珂川水系におけるヤマメ・サクラマス釣獲状況 (p43-44)

那珂川水系におけるヤマメ・サクラマスの釣獲実態を把握するため、インターネットの投稿サイトから釣果情報を収集し、釣り人16名から57尾の釣果報告を得ました。ヤマメは解禁初期から8月下旬まで釣れていた一方で、サクラマスは3月下旬から6月中旬の遡上時期に集中して釣れていました。また、ヤマメはルアーやフライ釣りで良く釣れており、サクラマスは餌で良く釣れていることがわかりました。